

骨格調整の適応症

皆様が病院にかかる前や、病院で病名が見つからないが調子が悪い

「病気でないが健康でもない」といった
お客様の不調を「根絶するべく」創案しました

“トータルバランス プローチ” T, B, A, 理論は症状別に

さまざまなタイプに対応する為、日々技術・主義の改良を行っております。

Q:どのような症状の時に対応していますか？

=====

骨格調整

A:対応しているお客様

一般の方、技術職、格闘系、バレエ、ヨガ、ボーカリスト、役者等

=====

- ・どこか身体が痛い
(打撲以外、打撲後の変位の調整は◎)

⇒背中、腰、肩、首、頭

- ・疲労感が抜けない (寝ても寝た気がしない)
- ・手、足の痺れ、
(軟骨に大きな損傷が無いケース)
- ・ムチ打ち、膝、足首、股関節

※特定の部位だけ椎間板がつぶれるということは
その部位周辺又は、全身からの影響があります。

【首】上、下、左右、向きづらい
※首だけでなく、頭や肩の高さ、骨盤の影響があります。

【背中】

・背中から腰にかけてのどこかが疲れると痛くなる

※背中では肋骨などがあり全身と相互作用があります。

※歪みが大きく変位があるとそこが圧迫されて血流が悪くなって痛みやくすぐったいなど出ている場合あり

※東洋医学には「内臓体壁反射」と言っていて
内臓の疲れが背中等に反射する場合もあり、
よく言われている「経絡」とも深く関係しています。

「流れ悪いと何かしら痛みが出る」とう考え方です。

【腰】朝起きると痛い、いつも変

【股関節】痛みがある

【膝】膝がいままで痛くなかったのに急に出だした

【足首】片方、両方に痛みが出る、動きが悪い

Q:調整施術はどのようなタイミングでうければいいですか？

A:対象となる方別のタイミング

一般の方、技術職、格闘系、バレエ、ヨガ、ボーカリスト、役者等
=====

このような時にお電話ください。

今までお客様の調整後の改善パターンを検証したところ

不調が強い際

一週間に一度ないし、一ヶ月に2度はご来店お願いします。

※・疲労や環境の変化などあり身体の状態が不安定になっている方は
・いつも無い痛みや重心足、肩の高さが頻繁に前回とは違う方
(施術後口頭で伝えお渡しする「本日の施術内容」に書かれています)

施術を受けていく不調を感じにくい体になっていきます

このような状態から・・・

メンテナンスの為に1ヶ月～2ヶ月にお電話ください。

※身体は改善していても、仕事や生活の環境は変わっていない方が多いです。

※身体を動かす運動系のプロ、アマの方※

・身体を動かすと一時的に温まり痛みの場所や不調が鈍麻するケースが多いです。

これを続けているとその不調の場所に「負担」が多くかかり

さらに痛みが大きくなったり大きな損傷になる場合もありました。

※痛みや不調は早めのケアが良いです。（メンテナンスだけで済むようになります）

・目安として、身体を可動させた際に、動きが悪い部位がある

「自分が考えているいつもの動きのラインで動けない」等

・今までと違う練習法の断続的な実施（環境の変化）

※身体の不可のかけ方を変えると身体がそれに対応した「位置」に骨格、筋肉などが”補正しよう”とするので身体が一時期不安定になり痛みや重さがでるケースがありました。

（筋肉と一緒に部分的に鍛えるとその部分の筋肉の密度、その不可に対応し骨格の変化があるのと同じです）

※技術職・格闘系、バレエ、ヨガ、ボーカリスト、役者等※

※プロレベルになりますと自分の限界レベルをいつも超えるため

見え方の姿勢の干渉な変更、肉体レベル、技術レベルを上げるための筋肉、骨格に与える負荷が一般に人よりも高いです。

不調が強くても、無理をする方が多いのもプロの方です

1. 技術職：

いつもと違い手の感覚が変、

手の動きが硬くなってる、よく腱鞘炎になりだした

繊細な動きがしにくい、指の感覚が鈍い、痺れ他肘、腕、肩や背中まで

2. ボーカリスト、役者：

声に伸びがなくなった、

どこかしら腰から上の上半身に不調がある

（肩が下がる⇒肋骨の変位あり⇒息を吸い込んでも可動制限がある為通常のベストコンディションが出ないという流れ）

3. 格闘系：

ジャブ、ストレートなど自分の得意ないつもの動きができない

走りこむと足がすぐ痛くなる、一歩前にだす足の動きが悪い

身体を回転させるキック等の左右差が大きいなど

4. バレエ、ヨガ、プロ：

ストレッチや各ポーズをしても改善しない痛みや重さ
一般の方よりもとくに身体の関節の可動域（動く範囲）が大きいため、
必ずマッサージなどではなく土台である、骨格レベルから調整が必要です。
ほぐすだけでは改善しない方が多いです。

とくに見た目の姿勢の美しさも重要となってきますので、
師匠や自分の上の方に姿勢を正されたが、やってみてその姿勢がやりづらい
という方は調整をうけた方がいいです。

補足

※肩の高さや身体の左右、前後バランスが大きくなっている場合が多いです。
（技術系は前のめりに仕事する事が多い為、呼吸が浅くなるケースもあり）

※肩の高さが下がる⇒肋骨・鎖骨・肩甲骨が下がる
⇒背中、胸、首、頭、噛み合せが痛みが出る、おかしいという流れです。

※事務所移籍など環境の変化での身体の不調も多いです
⇒外的要因（ケガ、外傷）、内的要因（内臓の疲れ）、習慣的要因（環境的要因）
⇒これらの変化、不調がでるといいう流れです。

ここにまとめたことは一部ですが、
このような時にTBA理論「トータルバランスアプローチ」をご活用ください。